

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科昼間部(3年制)	2023年度	3年グラフィックデザイン専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	古美術研修	専任教員、北 進一	1単位 36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ファインアート科、ビジュアルデザイン科3年生合同で行動。京都に3泊4日。仏像や障壁画を拝観。一般には公開していない特別拝観の寺院などに行く。(等伯の襖絵・等伯の障壁画・探幽の障壁画・狩野永岳の襖絵など)</p>			
【講義概要】			
<p>研修で見る寺院、仏閣にある仏像や襖絵、障壁画などは図録や美術書といった図版でしか普段は目にする事ができません。たまに美術館で特別展示を行うこともありますが、現地で間近に見るのとは全く雰囲気も感じ方も違います。参加することはたとえ分野が違っていても今後の制作にいい刺激になることでしょう。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	東京から京都へ新幹線で移動		
2	智積院宝物庫見学		
3	南禅寺特別拝観見学		
4	平等院見学		
5	石峰寺見学		
6	醍醐寺見学		
7	広隆寺、東寺見学		
8	京都から東京へ新幹線で移動		
【成績評価方法】			
<p>研修の参加を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義形式を基本とする。研修に参加しない学生にはレポート課題を提出。</p> <p>和光大学卒業後、中国・山東大学に留学。群馬県立女子大学兼任講師。専攻は日本および東洋美術史。著書に『ほとけを知るー仏像めぐりハンドブック』(シンコミュージック・エンターテイメント)『アシュラブック』(美術出版社)、共著に『カラー版東洋美術史』(美術出版社)。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科昼間部(3年制)	2023年度	3年グラフィックデザイン専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	就職講座	アイデム 川野恵子 山カズオ	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>○一般常識的な求人や採用にまつわる社会状況や知識を学ぶ。(アイデム)</p> <p>○どのような企業や職種が自分に向いているのか？就職して何をやりたいか？を自分自身が理解することにより目標を明確にします。またデザイン・広告業界の現状を理解することで就職活動をよりスムーズにそして有意義なものになることを目指します。(秋山カズオ)</p> <p>○「笑顔」を多角的にアプローチして掘り下げ、スキルとしての笑顔を学習します。笑顔に期待できる効果、好感度の高い笑顔のかたち、TPOに合わせた笑顔、心から笑顔になれる手法を学びます。特にこの授業では、就職面接、コミュニケーションをする上で最も重要視される印象アップの為の笑顔力、プレゼン力をつける授業です。(川野恵子)</p>			
【講義概要】			
<p>○企業の採用担当者や研修担当者から一般的に就活に必要な知識を学ぶ。(アイデム)</p> <p>○1.自分の長所と短所を明確にする。 2.就職することで得られるメリットを理解する。 3.社会や企業で必要とされる人材とはどういったものかを知る。 4.上記をもとに面接での自己PRを考える。(秋山カズオ)</p> <p>○笑顔を知る・育む・実践するの3ステップで進める授業です。笑顔の外的・内的効果を知り、笑顔を育む笑顔トレーニングを実践。また、実際の就職面接で活かせる印象アップのポイントについても講義します。授業前後に笑顔採点機で自身の笑顔を数値判定。受講後のレポート提出で笑顔スペシャリスト検定3級資格を取得できます。(川野恵子)</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	講義及びディスカッション		
2	講義及びディスカッション		
3	講義及びディスカッション		
4	講義及びディスカッション		
5	講義及びディスカッション		
6	講義及びディスカッション		
7	発表		
6	講義及びディスカッション		
7	発表		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とする。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科昼間部(3年制)	2023年度	3年グラフィックデザイン専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	フリーランス講座	ゲスト教員	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>アーティストがたとえフリーランスであっても様々な生活における状況や、社会との関わりに適切に対応しうる能力を身につける。</p>			
【講義概要】			
<p>全7回にわたりアーティストが直面するであろう社会的な問題やテーマについて各方面のアーティストによる体験談などに触れながら学習する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	講義及びディスカッション		
2	講義及びディスカッション		
3	講義及びディスカッション		
4	講義及びディスカッション		
5	講義及びディスカッション		
6	講義及びディスカッション		
7	発表		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。合格:(100~95:A+ 94~80 :A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とする。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科屋間部(3年制)	2023年度	3年グラフィックデザイン専攻・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	特別講座／就職セミナー	ゲスト講師	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>特別講座: 現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。</p> <p>就職セミナー: 就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。</p>			
【講義概要】			
<p>7/6(木)就職セミナーA、10/11(水)知的財産権、10/14(土)同窓会特別講座、10/24(火)就職セミナーB、11/15(水)海外講座A、12/6(水)海外講座B、12/9(土)創形展講座</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	就職セミナーA		
2	知的財産権		
3	同窓会特別講座		
4	就職セミナーB		
5	海外講座A		
6	海外講座B		
7	創形展講座		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とする。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部(3年制)	2023年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語1	蔣燕萍	3単位 78時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>①日本語能力試験N1対策:N1の試験に合格できる力をつける。 ②語彙力の向上</p>			
【講義概要】			
<p>・言語知識、読解、聴解の実戦練習。 ・模擬試験。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験	20	模擬試験
2	講義	21	講義
3	講義	22	講義
4	講義	23	講義
5	講義	24	講義
6	講義	25	講義
7	講義	26	試験
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	模擬試験		
15	講義		
16	講義		
17	講義		
18	講義		
19	講義		
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイテム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部(3年制)	2023年度	留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語2	メロス言語学院講師	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
目上に対する日本語表現とカジュアルな日本語表現の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
前半90分、後半20分=映像教材を見て、語彙の聞き取り+ディスカッション。 後半70分= (1)会話表現+ロールプレイ(15分) (2)1分間スピーチ(15分) (3)Show & Tell(40分)			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2023年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	エディトリアルデザイン	奥定泰之	3単位 78時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
エディトリアルデザインをより深く考察し、単なるアプリケーション操作を超えたエディトリアルデザインを具体的に考え、制作する。			
【講義概要】			
タイポグラフィ、レイアウト、写真加工、色面構成、素材選択などの技術を総合させて、エディトリアル(編集)という意味を考えつつ、作品を制作する。			
授業計画及び学習の内容			
回			
1	オリエンテーション	21	制作
2	制作	22	制作
3	制作	23	制作
4	制作	24	制作
5	制作	25	制作
6	制作プランの発表と指導	26	講評会
7	制作		
8	制作		
9	制作		
10	制作		
11	進行のチェックと指導		
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	最終チェックと指導		
16	制作		
17	制作		
18	制作		
19	制作		
20	制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1970年愛媛県生まれ。グラフィックデザイナー。株式会社オクサダデザイン代表。主に書籍や雑誌のデザインを手がける。第40回、46回造本装幀コンクール入賞。第2回竹尾賞優秀賞。共著に『感性と社会』(論創社)、『近代デザイン史』(武蔵野美術大学出版局)。JAGDA会員。早稲田大学非常勤講師。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2023年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	UIデザイン	谷内晴彦	1.5単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ひとつのテーマから情報を整理し、Adobe XDを使用してデジタルコンテンツを設計するまでのプロセスを身につけることが目標です。常に客観的に観察する視点を持ちながら、UIデザインを通してサービスそのものを考えていきます。</p>			
【講義概要】			
<p>デジタルコンテンツはどうやってつくられるのか？様々なプロセスを体験することで、実践に役立つ演習を試みます。ここではウェブサイト・スマホアプリにおける情報の編集、ワイヤーフレームの設計など、導線や画面遷移といったウェブの仕組みを理解し、UIデザインの基礎を修得します。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	UI概略/XD演習		
3	リサーチ報告 XD演習		
4	ワイヤーフレーム制作		
5	ガジェットアプリ制作		
6	ガジェットアプリ制作		
7	ガジェットアプリ制作		
8	講評		
9	UI概略		
10	ワイヤーフレーム制作		
11	ウェブサイト制作		
12	ウェブサイト制作		
13	ウェブサイト制作		
14	講評会		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>desegno ltd. アートディレクター。ジャンルを問わず国内外のブランディング事業に携わる。2017年企業コンサルティング会社cd.に参画。デザイン領域の拡大を目指す。2020年武蔵野美術大学基礎デザイン学科非常勤講師就任。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2023年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	メディアデザイン実習	伊波英里	1.5単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
多種多様な街頭ビジョンやデジタルサイネージが集まる“渋谷”の街を舞台に、デジタル広告の可能性を探ります。			
【講義概要】			
渋谷の街頭ビジョンやデジタルサイネージを使ったデジタル広告制作を想定し、企画、実制作、プレゼンまでを一貫して行います。実際の仕事の流れを体験することで、プロとしての制作スキルを養うことを目標とします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	課外授業(渋谷)サイネージ視察		
3	企画立案/リサーチ・企画書制作		
4	企画書初回提出:A		
5	企画書初回提出:B		
6	企画書修正提出・絵コンテ初回提出:A		
7	企画書修正提出・絵コンテ初回提出:B		
8	動画制作		
9	動画制作		
10	動画初回提出:A		
11	動画初回提出:B		
12	動画修正提出:A		
13	動画修正提出:B		
14	プレゼン・講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
2003年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。ニューヨーク滞在を経て、2010年よりアートディレクター/グラフィックアーティストとしての活動を開始。グラフィックデザインに軸足を置きつつ、広告や映像制作、空間演出など、多岐に渡り活躍中。近年の主な仕事にWoltCM、PARCO広告など。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2023年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	パッケージデザイン応用	松本 泉	3単位 78時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
パッケージデザインは、買い手に様々な情報を伝達しながら購買に結びつけ、買われた後は人々の暮らしに寄り添って存在していくという、もはや生活文化そのものと言えるほど重要なものです。本授業ではパッケージデザインとは何か、どのような仕事なのかを講義と演習の両面で理解体験し、興味喚起させることを目標とします。			
【講義概要】			
パッケージデザインの本質を、実例をもとに紹介する講義を行ない、その後に学生一人一人にパッケージ制作の課題に取り組んでもらいます。コンセプトを考え、ロゴタイプを作り、グラフィックデザイン、イラストレーション等を駆使してデザインをまとめ上げ、最終的に提案用のカンパとパッケージモデルを仕上げ、プレゼンテーションしてもらいます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・課題説明	21	制作
2	制作	22	制作
3	制作	23	制作
4	制作	24	制作
5	制作	25	制作
6	制作	26	講評会、プレゼンテーション
7	制作チェック		
8	制作		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	制作チェック		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	制作		
17	制作		
18	制作チェック		
19	制作		
20	制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1959年東京生まれ。1983年東京藝術大学大学院修了。同年(株)資生堂入社。パッケージデザイン、アートディレクションを行なう。2002年~2014年、(公社)日本パッケージデザイン協会理事。2014年(株)資生堂退社。現在はフリーランスパッケージデザイナー、アーティストとして活動中。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2023年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	グラフィックデザイン応用A	草谷隆文 山本哲次	3単位 78時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
「条件のある」「与えられたテーマ」を、自身の個性や特性をバランス良く取り入れたポスター制作をする。また、長期間にわたる制作期間を、上手くスケジューリング出来るようにする。			
【講義概要】			
実際のコンペに各自参加し、コンペのテーマを全員で理解し、研究する。そして、ディスカッションをしながら、各自に合ったテクニックや表現方法をそれぞれ指導していく。事前準備や 作業の進め方は授業の中で説明。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	21	制作
2	面談	22	制作
3	テーマ発表	23	制作
4	制作	24	制作
5	制作	25	制作
6	制作	26	講評会
7	各自テーマ決定		
8	制作		
9	制作		
10	面談		
11	制作		
12	制作		
13	制作チェック		
14	制作		
15	制作		
16	面談		
17	制作		
18	制作チェック		
19	制作		
20	面談		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>草谷隆文:1963年静岡県生まれ。1985年玉川大学文学部教育学科教育哲学専攻卒業。1989年廣村デザイン事務所入社。1996年有限会社草谷デザイン事務所設立。[入選/受賞歴]1994年準朝日広告賞。1995年JAGDA新人賞。2001年グッドデザイン賞部門賞。2008年準朝日広告賞。2009年朝日広告賞グランプリ。山本哲次:1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、りそな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCLVIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエンナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会(D-8)JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2023年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	グラフィックデザイン応用B	林 規章	3単位 78時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
自分の視点を持ち「道具」というテーマに向き合うこと。「道具」の機能と美に気づきその造形を有効的に美しく視覚伝達することを目指します。			
【講義概要】			
「道具」の持つ機能美を、「文字」と「かたち」で表現します。10ページ程度の冊子にしてまとめてください。(サイズはA4～A3程度)表現のアプローチは自由ですが、要素として「情報(文字)」と「造形(かたち)」は必ず入れてください。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	21	制作
2	制作	22	制作
3	制作	23	制作
4	制作	24	制作
5	アイデア ラフチェック 面談	25	制作
6	制作	26	講評会
7	制作		
8	制作		
9	制作		
10	制作		
11	アイデア ラフチェック 面談		
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	デザイン チェック 面談		
16	制作		
17	制作		
18	制作		
19	制作		
20	制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1964年生まれ。グラフィックデザイナー、女子美術大学教授。広告、音楽、出版、TVなどのアートディレクション・グラフィックデザインに従事。主な仕事に「ブルーノ・ムナーリの本たち」「NHK デザインあみるほん」「MTV JAPAN」などがある。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2023年度	3年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	卒業制作	山本哲次 岡山拓史 飯田淳	16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
創形で学んだ3年間の集大成として、自身の表現の領域に於けるクオリティを追求しつつ、卒業制作としてふさわしい、社会性を意識した完成度の高い作品を制作します。そのうえで校内外の卒業制作展で発表することを目標とします。プロのクリエイターとして充分通用する表現とプロとしてあるべき姿勢を求めます。			
【講義概要】			
卒制ガイダンスにて、詳細は説明します。 各専攻の専任教員の個別指導に従い、コミュニケーションを大切にしながらゼミ形式での授業を行います。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。合格:(100～95:A+ 94～80 :A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>山本 哲次:1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、リネナ銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCI/VIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ボースタートリエクシターレトヤ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会(D-8)JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。</p> <p>岡山 拓史:1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーT</p> <p>Vの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FU TO NE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー/アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員。飯田</p> <p>淳:東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMESCollection Homme Automne-Hiver 2008 INVITATION』のイラストレーション、『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストダイアリー、『an'an』『クロワッサン』『クーネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』のロゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『バルトウズ』をプロデュース。TIS会員。</p>			